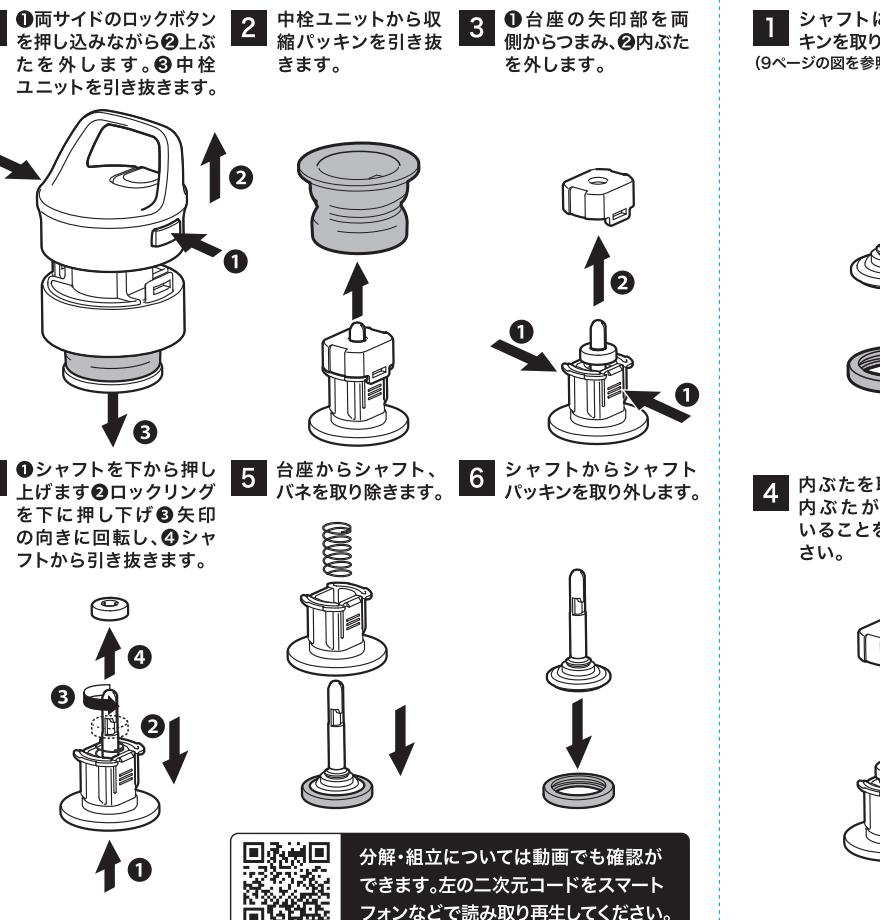
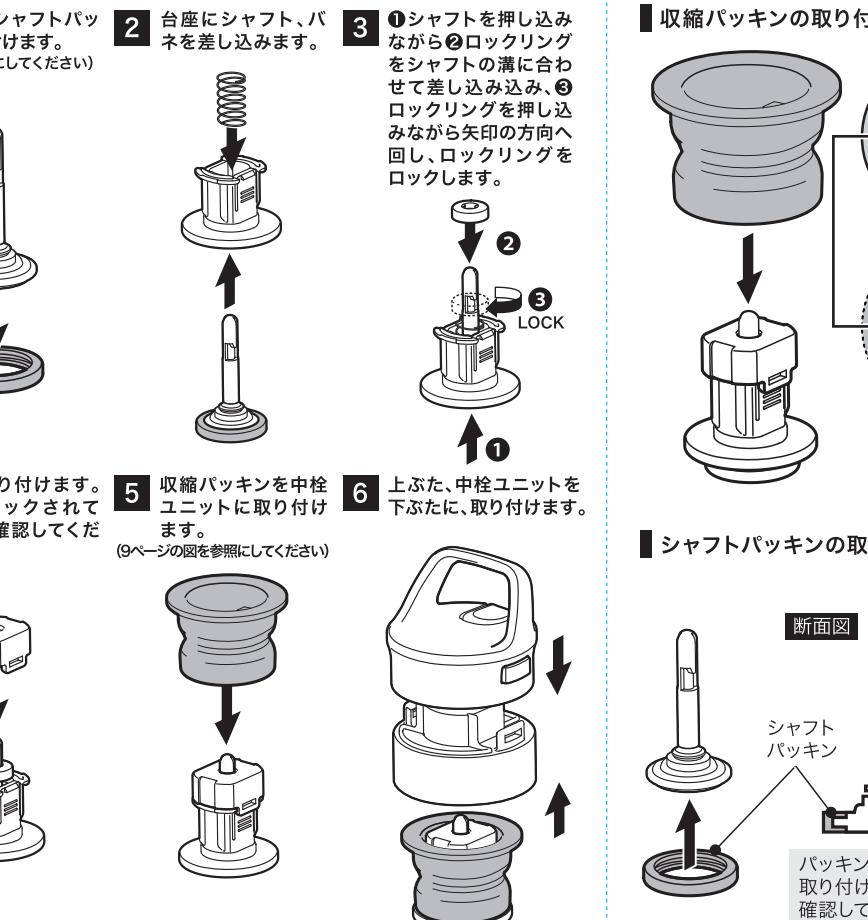


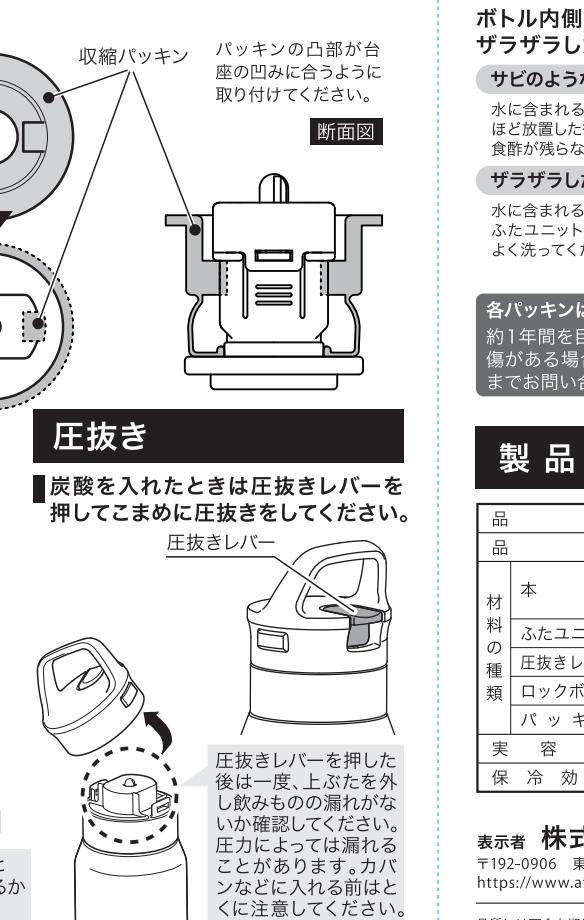
分解方法



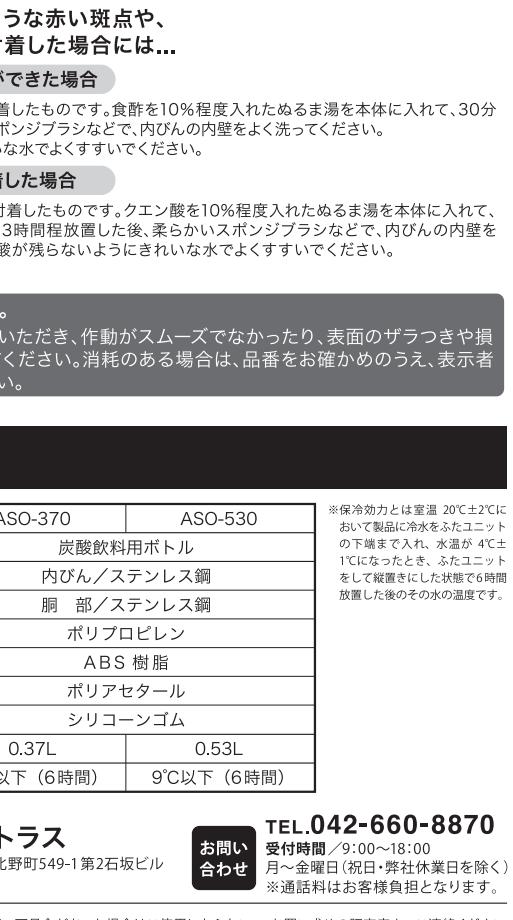
組み立て方法



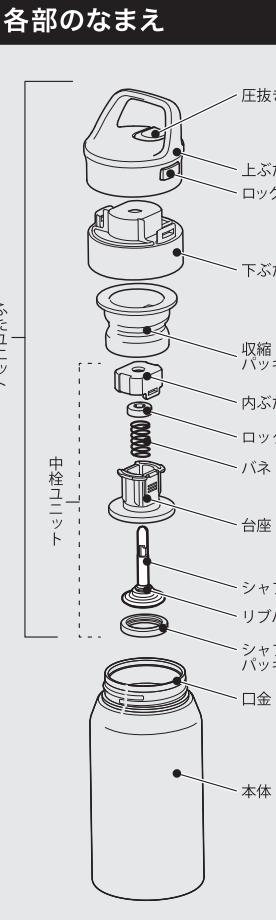
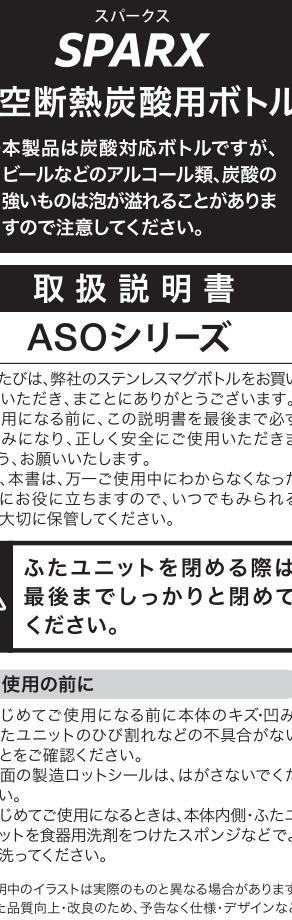
パッキンの取り付け方



赤い斑点・ザラザラが付着した場合



保冷専用



△ご使用上の注意 保冷専用

- 本品は保冷専用ボトルです。温かい飲みものは入れないでください。
警告 熱いものは絶対に入れないでください。やけどの原因になります。
- 炭酸飲料を入れた状態で、横置きにしないでください。
- 本製品は炭酸対応ボトルですが、ビール等のアルコール類、炭酸の強いものは泡が溢れことがありますので注意してください。
- 圧抜きレバーを押した後は一度上ふたを外し、飲みものの漏れがないか確認をしてください。

圧によっては漏れることがあります。カバン等に入れる前は特に注意してください。

● 車内や直射日光の当たる場所等、高温になるとろに長時間放置しないでください。
飲みものの温度が上がり、圧上昇により飲みものが吹き出しても汚す原因になります。

● 落下などの衝撃を避けてください。衝撃が加わった場合、しばらく時間をおいてから圧抜きをし、ゆっくりとふたを開けてください。
変形や割れ、保冷不良の原因になります。またふたユニットの破損原因になります。

● ビールなどのアルコール類、炭酸飲料は冷蔵庫でよく冷やしてから入れてください。
飲みものの温度がぬるいと炭酸が抜けやすく吹き出しやすくなります。

● 乳幼児の手の届くところには置かないでください。

● 炭酸飲料を入れた場合は必ず圧抜きをしてからふたを開けてください。

● 炭酸飲料を入れた場合、30分を目安に圧抜きレバーを押して中の圧力を下げてください。

● 炭酸飲料を入れた場合、故意にボトルを振ったりするのはやめてください。

● 圧抜きレバーを押すときは必ずボトルを立てた状態でおこなってください。
本体を横にして圧抜きレバーを押すと中身がこぼれるおそれがあります。

● ふたを開けるときはゆっくりと開けてください。
圧が抜き切れてなく吹き出すおそれがあります。

● 飲みものはゆっくり注いでください。

● ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。
飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れて、ものを汚す原因になり危険です。

● 飲み終わったら、本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。
閉め方が不十分だと、傾けた場合飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。

● ふたユニットはしっかりと閉めてください。
内圧が上がり、炭酸など飲みものが吹き出したりするおそれがあります。

● 圧抜きレバーを押したときに中の圧力のかかり具合によっては、中身が炭酸と一緒に溢れてくるおそれがあります。

● 標高の高い場所では特に内圧が上がる為、こまめに圧抜きをおこなってください。

● ボトルや取っ手を持って振ったり振り回すのはやめてください。

● 取っ手を持って持ち運ぶ際は、上ふたがしっかりと固定されていることを確認してからご使用ください。

● ロックボタンが確実にロックされていることを確認してご使用ください。

● ふたユニットは必ず外してから飲みものを入れてください。

● 冷凍庫には入れないでください。

● 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

- 飲みものの量は、取扱説明書5ページ右下の図を参考にしてください。
入れすぎるとものを汚す原因になり危険ですが開くなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。また、お湯に漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- 大きな氷を入れる場合は押し込む小さく碎いて入れてください。
- 炭酸飲料を入れる際は氷は絶対に入れないでください。
- 分解洗浄後、ご使用前は各パッキンが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。各パッキンの取り外し、取り付けの際、部品の紛失及び未装着に注意して取扱説明書を参考にして間違なく組み立ててからご使用ください。
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。
- 電子レンジで加熱しないでください。
火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。
- 次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス
内圧が上がり、ふたが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたが破損して飛散する原因になります。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
- お茶の葉・果肉
すぎ間などにつまり、漏れてもを汚す原因になります。

- おいしいものを入れると、本体やパッキンにおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
お手入れ方法に従って汚れやおいを落とした後、十分に乾燥させてください。
- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

- 成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが吹き出したり、ふたユニットが破損して飛散するこがあり危険です。
- お茶などは早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。
- 製品の構造上、湿度が高いときにふたユニットに水滴がつく場合があります。
ご注意ください。

- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。
- パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。
- 持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。
■ 持ち運ぶ際は、上ふたが確実に固定されていることを確認してください。
■ ロックボタンが確実にロックされていることを確認してご使用ください。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
- 車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分だと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。
- スポーツ飲料を入れた時は、使用後早めにお手入れをしてください。
においの付着やサビ等の原因になります。

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
●製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、使用しないでください。

1 ふたユニットを外す



飲みものの量は、下図の → 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを開めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減らしてから、ふたユニットを閉めてください。

2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の → 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを開めたときに中身が溢れる場合があります。
火が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

3 ふたユニットを閉める

ふたユニットを開める。
※押抜きをする場合やふたユニットが開きにくくなった場合は、ボトルが倒れないように十分注意して必ず本体を立てた状態で布(タオルなど)をあて、ゆっくりと開けてください。

4 ふたユニットを開けて飲みものを飲む

ふたユニットを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。

*

飲み口に残っていた水滴が飛散することがありますので、ご注意ください。

ボトルに炭酸を入れている場合は圧抜きレバーを押すと、十分減圧してから開けてください。

ボトルに炭酸を入れている場合は圧抜きレバーを押すと、十分減圧してから開けてください。



5 飲み終わったら

飲み終わったら本体を立て、ふたユニットを閉める。

*

ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。

